

2020

7

まつえ社協だより

第128号

今月の誌面

- P2 ●令和元年度 松江市社会福祉協議会事業報告 決算報告
- P3 ●令和元年度 決算の概要
●令和2年 高砂祝いについて
のお願い
- P4 ●新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りの皆様へ
センターです
- P5 ●こんにちは、地域包括支援
センターです
- P6 ●善意のご寄付ありがとうございます



「ひとり一品運動」へのご協力ありがとうございました



【ご協力いただいた市民・団体・企業の方々】

5月31日現在

- 個人：255人 ●企業・団体：63件
- 寄贈品目：お米、カップ麺、乾麺、レトルト食品、日用品他

新型コロナウイルスの影響により収入が減り生活に困っておられる方々(学生、ひとり親家庭等)を支援するために5月15日から31日までの期間「ひとり一品運動」を実施し、多くの市民の皆様、企業から食料品等のご支援をいただきました。いただいた食料品は受け取りを希望された皆様に提供させていただきました。

受け取られた方々からは、感謝の声を多数頂きました。引き続き、寄贈を受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。

ご寄贈いただいた皆様、ありがとうございました。

問い合わせ先 / 総務課 ☎21-5773

家庭や地域での人間関係が希薄化する中で、地域では社会的孤立がすすみ、高齢者の孤立、孤独死、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生しています。さらに年度末からの全国的な新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人とのつながりの分断を生み、市民はこれまでの「日常」という生活ができない状況にさらされています。

昨年度、推進してきた「地域共生社会」の実現に向けた取組みを実践することが、このような局面だからこそしっかりと推し進めていく必要があると確信しています。この「地域共生社会」の実現は、本会のこれまでの方向性と合致するものであります。

令和元年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1. 「我が事・丸ごと」の地域づくりの推進 （地域共生社会の実現に向けた 包括的支援体制構築事業）

各地域包括支援センターにグループリーダーとコミュニティソーシャルワーカーを配置し、より住民に身近な拠点でのニーズ把握や地域づくりに取組みました。新たな居場所づくりの可能性の模索と移動支援や買い物支援等、市民にとって生活に密着した高いニーズに向きあい実践してまいりました。

平成29年から開設した「ふくしなんでも相談所」も3年目を迎え、相談ニーズも多様化し、職員ひとり一人の対応能力が試されることにもなり、定期的にスキルアップ研修を開催することで職員の相談支援能力の向上に努めました。

2. コミュニティソーシャルワークの推進

各日常生活圏域を担当するコミュニティソーシャルワーカーは、ふくしなんでも相談等で把握した事例に対して相談支援し、必要に応じて関係機関と連携しながら新たな支えあいの仕組みづくりに取組みました。

昨年度は、特に、居場所づくりや買い物支援等について関係機関や住民の皆さんとともに企画の段階から参画いただき実施につなげることができました。

3. 第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

地域福祉を総合的に推進するため、松江市と一体的に第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました。第4次計画の4つの基本目標から「包括的な支援体制をつくる」を新たな5つ目の基本目標として設定し、全ての世代、全ての人を対象とした相談体制として「ふくしなんでも相談所」の充実や地域包括支援セン

ターを高齢者以外の相談にも対応していく機能を位置づけました。

地域のつながりを強化し、誰も排除されないまちづくりをめざし、実行力のある計画にしていけることが求められています。

4. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

地域ケア会議等、介護支援専門員支援を重点に取組みました。徘徊高齢者等の早期発見に社協独自事業「GPS端末貸与」を試行し有効性を検証しました。

医療・介護関係者と共に「松江市入退院連携ガイドライン」を作成し周知や看取りをテーマに市民講座を各地区で開催しました。

5. 権利擁護支援体制の推進

身寄りのない高齢者の様々なニーズに対応するため「高齢者あんしんサポート事業」を立ち上げ、日常的な見守り、入院時の保証、死後の支援等のサポート体制の充実を図りました。

また、家庭裁判所から市民後見人の第1号が選任されました。市民後見人のバックアップ体制を強化し、市民後見人が安心かつ継続性をもった支援できるようサポートしました。

6. 社会的孤立予防プロジェクト～おせっかいのススメ～

核家族化や少子高齢化、単身世帯の増加、そして、地域の人間関係への無関心やわずらわしさからの解放は、地域のつながりをなくし、社会的孤立をより一層深刻なものにしています。地域での福祉活動を最前

線で支えていただいている民生児童委員、福祉推進員等を対象に「おせっかいのススメ」や「氷山モデル」を活用した研修会を開催し、人が孤立する背景やその支援のあり方について学ぶ機会としました。

— 社協の実施事業 —

1 社協運営及び機能強化

6 介護保険関係事業の推進

2 地域福祉及び連絡調整の強化

7 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

3 ボランティア活動及び福祉教育

8 児童福祉サービスの推進

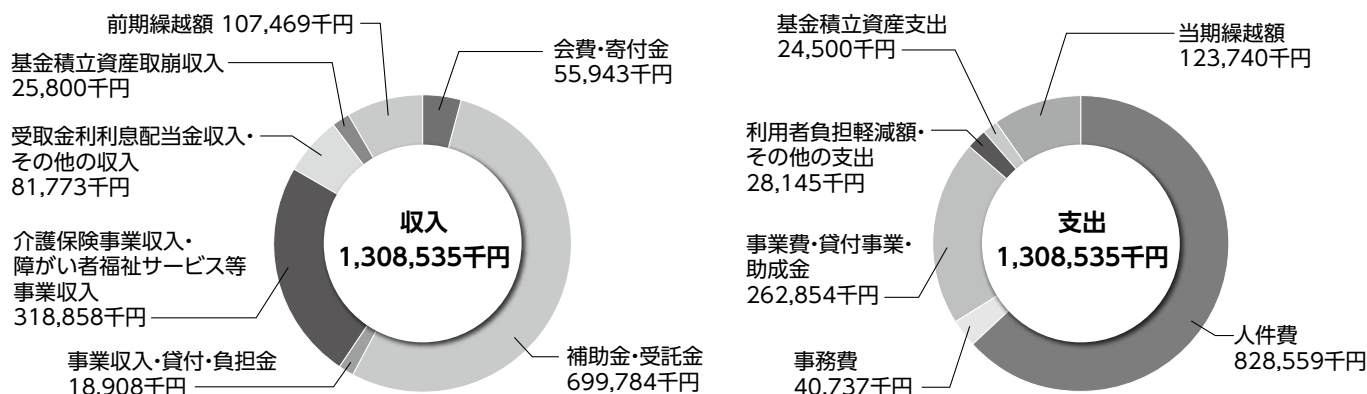
4 在宅生活支援事業の推進

9 福祉施設等管理運営事業の受託

5 公的福祉サービス受託事業の推進

10 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進

令和元年度 決算の概要



令和元年度 資金収支決算書 (単位:千円)					
収入 (グラフデータ)			支出 (グラフデータ)		
会費・寄付金	55,943	4.3%	人件費	828,559	63.3%
補助金・受託金	699,784	53.5%	事務費	40,737	3.1%
事業収入・貸付・負担金	18,908	1.8%	事業費・貸付事業・助成金	262,854	20.1%
介護保険事業収入・障がい者福祉サービス等事業収入	318,858	24.0%	利用者負担軽減額・その他の支出	28,145	2.2%
受取金利息配当金収入・その他の収入	81,773	6.2%	基金積立資産支出	24,500	1.8%
基金積立資産取崩収入	25,800	2.0%	当期繰越額	123,740	9.5%
前期繰越額	107,469	8.2%			
合 計	1,308,535	100.0%	合 計	1,308,535	100.0%

令和2年 高砂祝いについてのお願い

例年、松江市高齢者福祉大会において、大会より高砂祝いを贈呈しております。

本年も夫婦揃いで結婚65周年を迎えられる方々をお祝いいたしたく存じます。

つきましては、高砂祝い該当者の方は右記のとおりご連絡いただきますようお願いいたします。

併せて高砂祝い該当の方々を把握しておられる方は情報を提供いただきますようお願いいたします。

なお、情報提供いただく際に、高砂祝い以外にその情報を使用することはない旨をご説明いただき、ご本人了解の上で提供いただきますようお願いいたします。

*新型コロナウイルスの影響により大会が延期・中止となる場合がございます。

その場合は社協より、該当の方々にご連絡させていただき記念品を贈呈させていただきます。

式典開催日(予定)	令和2年10月23日(金)
式典開催場所(予定)	島根県民会館大ホール
高砂祝い者	昭和30年1月1日から同年12月31日までに結婚された夫婦
受付締め切り	令和2年8月28日(金)必着
連絡先・お問い合わせ先 総務課 ☎21-5773	

新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りの皆様へ



生活費の貸付



当面の生活費に困ったときは

- 制度名 緊急小口資金
- 対象者 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生活維持のための貸付を必要とする世帯
- 貸付上限額 20万円
- 猶予期間 1年間
- 返済期間 2年間

無利子、保証人不要の制度です。郵送によるお申し込みも可能です。

さらに長期の生活費に困ったときは

- 制度名 総合支援資金
- 対象者 新型コロナウイルス感染症の影響で、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
- 貸付上限額 単身世帯:月15万円(原則3ヶ月以内)
複数世帯:月20万円(原則3ヶ月以内)
- 猶予期間 1年間
- 返済期間 10年間

- 用意するもの ①住民票 ②免許証等本人確認書類 ③キャッシュカード又は通帳のコピー ④印鑑



お問い合わせ・ご相談は 生活支援課 ☎24-9026



生活費の給付

家賃の支払いができないときは

- 制度名 住居確保給付金
- 対象者 離職・廃業から2年以内または休業等による収入減少で離職等と同程度の状況にある方
- 給付額 34,000円以内(単身世帯の場合)
- 給付期間 原則3ヵ月間
- 用意するもの ①免許証等本人確認書類 ②世帯のすべての通帳 ③住宅賃貸借契約書 ④印鑑

収入や預貯金などの条件があります。詳しくは松江市くらし相談支援センターにご相談ください。



食料品などの提供

食料品・生活用品の支援について

市民の方や企業からいただいた食料品や生活用品を無償で提供いたします。

他になにか困ったことがあれば



一人で悩まず
ご相談
ください!

お問い合わせ・ご相談は 松江市くらし相談支援センター ☎61-8558 ☎60-7575

こんにちは、 地域包括支援センターです

自然災害への備えはできていますか？

台風や豪雨など夏季は自然災害に対して特に注意が必要です。

✓ あんしん チェックリスト

- ☐ 食料・飲料の備蓄はありますか？
- ☐ 避難場所や避難経路はわかりますか？
- ☐ 避難を開始する目安はわかりますか？

○食料・飲料は最低3日分の備蓄を！

飲料は1人1日3ℓが目安です。

食料は乾パンやアルファ米を準備しましょう。



○ハザードマップの活用を！

お住いの地区ごとに避難場所がまとめられています。また、浸水や土砂災害のリスクがある箇所も地図に記載されているので避難経路を選ぶ際の参考にできます。松江市のホームページにも掲載されています。



警戒レベル | 住民がとるべき行動

レベル5	命を守る行動
レベル4	全員避難
レベル3	高齢者等避難
レベル2	避難行動の確認
レベル1	心構えを高める

○高齢者の方は特に早めの避難を！

災害時には自らの判断で避難行動をとらなければなりません。その指針となるものに左記の警戒レベルがあります。高齢者の方は大雨警報や洪水警報に相当する警戒レベル3が避難行動を開始する目安となります。



6月1日に、松南第1地域包括支援センターは大庭町へ
移転いたしました。
松江市大庭町735番地（JAしまね大庭支店隣り）

センター名	連絡先	担当地区（公民館区）
松東地域包括支援センター 松東サテライト	☎24-1810 ☎72-9355	朝酌、川津、本庄、持田、島根 美保関、八束
中央地域包括支援センター	☎24-6878	城北、城西、城東、白湯、朝日、雑賀
松北地域包括支援センター	☎82-3160	法吉、生馬、古江、秋鹿、大野、鹿島
松南第1地域包括支援センター	☎60-0783	津田、大庭、古志原
松南第2地域包括支援センター	☎52-9570	竹矢、八雲、東出雲
湖南地域包括支援センター 湖南サテライト	☎24-1830 ☎66-9355	乃木、忌部、玉湯、宍道

善意のご寄付ありがとうございました

善意のご寄付は、松江市社会福祉協議会篤志寄付金配分委員会で協議の上、
社会福祉団体等への補助金及び社会福祉事業へ配分いたします。
(ご寄付をいただいた方のお名前については、ご本人の了承のもとに掲載しています。順不同敬称略)
令和2年3月21日～令和2年5月20日受付分

【香典・玉串料返し寄付金】

永田 健児
伊藤 恵一郎
桑垣 健治
藤田 真作
山内 弘和
村松 佳雄
中島 敦美
三島 幸晴
松浦 武志
山本 健一
松本 美夫
勝部 成美
石川 貴美子
川谷 貞男
京久野 昇
廣野 勝茂
永島 孝子
伊藤 高志
石橋 太一
梶谷 悦郎
井上 肇
北村 光子
岩井 正博
加藤 卓司
杉谷 育夫
小原 幸司
岩田 怜子
内田 道子
野津 省三
渡野 茂
藤田 泰由
岩成 泰男
吉岡 きくえ
中島 和子
濱崎 克巳
内田 千代子
吉田 史章

(故)門脇 幹雄

土田 耕平
高橋 敏明
相見 孝
鵜飼 実
長野 博
奥 幸夫
池田 聖
福田 徹
内田 広平
速水 初美
広江 律子
奥村 薫
清水 蓉子
中村 英治
余村 裕一
野津 浩幸
武藤 義昭
木村 英子
河角 静
磯見 修一
須山 俊彦
竹谷 利明
安田 憲司
田中 達男
渡部 幸子
岩成 温子
中村 周一
山田 敏子
高見 清治
松林 敏江
松本 誠
門城 英樹
福島 正幸
松下 仁美
渡部 さち子
藤原 勝
石原 勝彦

川島 均
作野 正嗣
錦織 信一郎
中岡 恵子
原 千恵夫
伊東 敏行
松浦 弥生
川本 恵美子
安達 朋
足立 透
倉内 寛
角 シズヨ
門脇 俊雄
山根 知子
大川 達代
福島 直樹
石倉 克美
浄土寺
檀家一同(2件)
金坂 勝民
野々内 健一
前田 耕一
持田 修司
金村 健一
竹内 彰
内田 悦子
石倉 和江
荒木 誉史
永瀬 朱美
福地 献一
秋風 千恵
吉岡 牧美
伊藤 秋義
高木 隆
野津 悠輔
安達 克弘
長居 健次
松本 延子

小笠原 福司
福原 隆壽
仙田 武留
岸本 浩一
小泉 勝
福間 将文
高橋 典孝
柏木 朋道
大西 長門
三島 徹男
門脇 朋之
原 明彦
竹内 幹子
古川 貴美子
梶谷 則正
小豆澤 信也
松浦 充
橘 幸一
池田 由紀夫
塩川 久美子
池田 稔
岡田 戴子
森脇 明男
清水 令子
比津 佐登志
岸井 敏功
桜井 浩
川島 英一
野津 恵子
岩谷 伸夫
(故)深田 昌男
永井 武
森岡 隆史
福田 陽子
高須 明子
畠山 栄治
品川 博子
久木 幹典

宍道 靖
石橋 新三
渡部 雄
中川 徹
吉岡 幸
星野 幸代
泉 明夫
永見 喜美子
古藤 孝雄
岡本 拓也
舟木 美紀子
金津 英隆
星野 崇
青山 昌之
青山 俊太郎
匿名 6件

.....
香典・玉串料返し寄付金
計 172件
計 5,118,000円

【一般寄付金】

安藤 公雄
樋原 哲也
匿名 1件

.....
一般寄付金
計 3件
計 201,000円

ご寄付は、松江市社会福祉協議会本所、支所、地区社会福祉協議会で受付しております。

発行編集

松江市社会福祉協議会

松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター内
TEL(0852)21-5773 FAX(0852)21-5377

E-mailアドレス shakyo-m@web-sanin.co.jp
ホームページアドレス http://www.shakyou-matsue.jp

※点字版・音声版の社協だよりを希望される方は総務課までお問い合わせ下さい ☎21-5773
社協だよりの発行は共同募金助成金の一部を活用しています。